

# 資料1

## 令和3年1月～12月の火災概況【確定値】

令和3年中の長崎県内の火災件数は428件、死者数は12名、損害額は971,124千円、り災世帯数は175世帯、り災人員は380名でした。

これを前年と比較してみると、火災件数は34件増加、死者数(注)は6人減少、損害額は159,305千円の増加となっています。

区分	令和3年(A)	令和2年(B)	増減 A-B=C	増減率(%) C/B×100
出火件数	428	394	34	8.6
(建物)	198	187	11	5.9
<住宅>	108	117	△ 9	△ 7.7
(林野)	29	42	△ 13	△ 31.0
(車両)	36	25	11	44.0
(船舶)	6	4	2	50.0
(その他)	159	136	23	16.9
焼損棟数	283	305	△ 22	△ 7.2
り災世帯数	175	205	△ 30	△ 14.6
り災人員	380	458	△ 78	△ 17.0
焼損面積 (建物(m <sup>2</sup> ))	14,573	13,841	733	5.3
(林野(a))	213	206	7	3.3
損害額(千円)	971,124	811,819	159,305	19.6
死者	12	18	△ 6	△ 33.3
<65歳以上>	7	13	△ 6	△ 46.2
<住宅> 放火自殺者等を除く	7	11	△ 4	△ 36.4
負傷者	47	53	△ 6	△ 11.3

注) 「死者」には、火災により負傷した後、48時間以内に死亡した者を含む。

### ○出火原因(ワースト5)

年	1位	2位	3位	4位	5位
令和2年	たき火 (117)	たばこ (25)	コンロ (18)	電灯・電話等 の配線 (17)	放火 (12)
令和3年	たき火 (101)	たばこ (25)	コンロ (20)	放火 (18)	電灯・電話等の配 線 (13)

注) 「放火」には、「放火の疑い」を含む。